



特定非営利活動(NPO)法人 柔道教育ソリダリティー



NPO - Solidarity of International Judo Education Newsletter vol. 3

趣旨 Primary Goals

- ◆ 国際的な柔道の普及—「自他共栄」を実現するために
—To promote the international popularization of judo and realization of *jitakyoei* (mutual prosperity for oneself and others).

現在、国際柔道連盟(IJF)には、199の国と地域が加盟しています。柔道は、一流競技者から一般市民に至るまで愛好され、各国の文化的特性と融合しながら創始者嘉納治五郎師範が掲げた「自他共栄」の実現を目指しています。

- ◆ 柔道を通して日本の心を伝え、様々な国との文化交流に役立てたい
—We communicate the Japanese spirit.

昨今の国際情勢を見ると、紛争やテロ、地球環境の劣化、南北格差の拡大、人口増加など問題が山積みされております。そのような状況の中、一部の発展途上国では柔道の指導者、道衣、畳、教材などが不足し、柔道を学びたくても学べない現状があります。柔道の国際的普及、振興に努めていきます。

- ◆ 今、大切なことは、子ども達をいかにして育てていくかということです
—Educate youth through judo.

柔道を通して世界中の人々が心を通い合わせ、お互いの文化を理解することが「自他共栄」を実現することの近道と考えております。これからの社会を担っていく青少年を、柔道を通して育成することが大切であると考えております。

Solidarity of International Judo Education:

A nonprofit organization whose primary goals are to play a leading role in the international popularization of judo, as well as to promote, through its activities, communication among people, cultural understanding, and the education of young people in Japan and overseas.

平友柔道
和情道

特定非営利活動法人柔道教育ソリダリティー 会報第3号
2007年12月17日発行 published 17th of December 2007

発行人: 山下泰裕

発行所: 特定非営利活動法人柔道教育ソリダリティー

〒259-1292 神奈川県平塚市北金目1117

東海大学 体育学部武道学科 第5研究室

Address: 1117 Kitakaname, Hiratsuka-shi, Kanagawa
Japan, 259-1292

TEL: 0463-58-1211 (内線3524) FAX: 0463-50-2230

Email: judo3524@keyaki.cc.u-tokai.ac.jp



Vol. 3

<http://npo-jks.jp>

柔道教育ソリダリティーとは・・・

柔道の国際的な普及に寄与するとともに、その活動を通じて人と人との交流を図り、異文化理解を進め、もって日本のさらには世界の青少年教育に寄与することを目的とした組織です。

柔道教育ソリダリティー役員

Officials of Solidarity of International Judo Education

任期:2007年7月1日～2009年6月30日

理事長

山下 泰裕 (東海大学体育学部教授)

副理事長

橋本 敏明 (東海大学体育学部長)

理事

上治 丈太郎 (ミズノ(株) 専務取締役)

植村 健次郎 (関東興業(株) 専務取締役)

小田 全宏 (NPO法人日本政策フロンティア 理事長)

加藤 暁子 (日本の次世代リーダー養成塾 事務局長)

阪 和彦 (アスカコーポレーション(株) 代表取締役)

地引 淳志 ((株)プレゼンスウィル 代表取締役)

高木 善之 (NPO法人ネットワーク「地球村」代表)

鶴田 友晴 ((株)電通 上席常務執行役員)

早川 信正 (早川繊維工業(株) 東京支店 専務取締役)

蓑宮 武夫 (ソニー(株) 元上席常務)

矢野 弘典 (中日本高速道路(株) 代表取締役会長)

吉川 和良 ((株)博報堂DYメディアパートナーズ

常務取締役執行役員)

監事

小出 将恵 (小出会計事務所 所長)

中野 根二郎 (京王電鉄(株) 顧問)

主な活動(2007年6月～11月)

- Major Activities -

年月日	内容
2007年6月2日	Sengoku International Judo Hall 開館式に早川信正理事長が出席(インドネシア・バリ)
2007年6月5日～7月10日	中国男子柔道チーム、日本で強化合宿(東海大学ほか)
2007年6月14日	第2回総会を開催(東京)
2007年6月25日	望星学塾の2007年度第3回望星ゼミナールで山下理事長・橋本副理事長が講演
2007年6月27日～7月7日	青島柔道協会・青島電力柔道部役員来日、日本の柔道事情を視察する
2007年7月1日	第29回山下旗柔道大会開催、支援をする(宮城・登米市)
2007年8月27日	第2回講演会を開催(東京・講道館)
2007年9月2日	第1回講演会講演録を発行
2007年10月12日～27日	中国男子柔道チーム、日本で強化合宿(東海大学ほか)
2007年10月20日	秋元国際奨学財団「竜の子奨学生」が柔道体験(東海大学)
2007年10月30日	小説「姿三四郎」のポルトガル語版が刊行される
2007年11月23日	第1回女子柔道教養セミナーを開催(東京・市ヶ谷日大会館)
2007年11月25日	日中友好青島柔道館が開館(中国・青島)
2007年11月27日	第3回講演会を開催(東京・霞ヶ関ビル)

1



2



3



※1 「日中友好青島柔道館」のゼッケンをつけた青島の子供たち

※2 ポルトガル語訳の「姿三四郎」刊行

※3 中国男子柔道ナショナルチーム、第5回来日メンバー

1. Children in Qingdao wearing "Japan-China Friendship Qingdao Judo Hall" bibs
2. The Portuguese version of Saga of Judo "Sugata Sanshiro" published recently
3. Members of the 5th Japan training camp of the Chinese National Men's Judo Team

日本の心、柔道を世界へ伝えるために・・・



柔道用品(柔道衣・畳)の支援



ボリビアに届いた柔道衣

1990年より、全日本柔道連盟及び東海大学の合同事業として、古柔道衣を柔道発展途上国に送る「リサイクル柔道衣」活動が行われています。当法人でもこの活動に賛同し、柔道発展途上国へ柔道用品(柔道衣・畳)を送る支援を行っています。

We have been promoting the judogi recycling project jointly with the All Japan Judo Federation and Tokai University since 1990, whereby old judogis are donated to countries where judo is starting to gain popularity. As part of this project, we also send judo mats, as well as judogis, to such countries.

去る2007年2月にロシア・サントペテルブルグで贈呈した柔道衣と畳が8月に北オセチア・ベスランに届きました



1

2007年2月にロシア・サントペテルブルグで贈呈した柔道衣100着・畳100枚が8月に北オセチア・ベスランの柔道クラブ「YAWARA・M」に届きました。関税手続きなどの処理に時間がかかりましたが、無事にベスランの子供たちの手に渡りました。

柔道衣は、ミズノ(株)と早川繊維工業(株)の協力で用意されたものです。2007年12月に福岡で開催されるサニックス旗国際中学生柔道大会には、この柔道衣を着て出場する予定です。ベスランの子供たちが柔道を愛好し、大きな夢を持つことを願っています。



2

The 100 judogis and 100 mats that we presented in Saint-Petersburg, Russia, in February 2007 arrived at the YAWARA-M judo club in Beslan. Due to customs clearance and other formalities, the children in Beslan had to wait a considerable time before they could receive their long-awaited judogis and mats.

※1 アベタ・コチエフ監督が子供たちに柔道衣を配布しました

※2 9月1日、新道場に日本から送られた畳を敷きました

第2回講演会

8月27日(日)、フランスよりミッシェル・ブルース氏を迎え、講道館で第2回講演会を開催しました



講道館新館2階教室で講演を行うミッシェル・ブルース氏

— フランスの柔道発展の秘密 —

The Secrets Behind the Development of French Judo

2007年8月27日(月)、第2回講演会・交流会を開催しました(東京・講道館)。「フランス柔道発展の秘密」のテーマで、国際柔道連盟メディアコミッショナー・オフィシャルリーチャーのミッシェル・ブルース氏が講演しました。会場は70名以上の参加者で立ち見が出るほどで盛況でした。

ミッシェル氏は、柔道を通して日本の文化や伝統に触れることが出来たこと。そして、川石酒造の助を挙げて、フランスにどのように柔道が浸透して行ったのかを話しました。

また、初心者や子供たちが柔道に興味を持つように、様々な工夫をしているフランス柔道を紹介しました。質疑応答での子供たちへの柔道指導に対しては「子供たちには技や技術を教えるのではなく、様々な失敗を通してその経験の中から子供が自ら考え学べるよう指導することが大切」と答え、教育の視点の重要性に触れました。

Mr. Michel Brousse, Media Commissioner and Official Researcher of the International Judo Federation, gave a lecture on the secrets behind the development of French judo during the 2nd Lecture and Networking Meeting held in the Kodokan Judo Institute in Tokyo on Monday, August 27, 2007. The lecture was a great success and attracted more than 70 people.



教室一杯に聴講者が入った会場の様子



柔道を通じた異文化交流、異文化理解のために

日中友好青島柔道館開館

11月25日(日)、日中友好青島柔道館が開館し、開館式には山下理事長が出席しました



道場には100名もの柔道少年が集まりました



開会式に出席した中国柔道連盟の王宝良会長、宋兆年副主任

Executive Director Yasuhiro Yamashita attended the opening ceremony of the Japan-China Friendship Qingdao Judo Hall held in Qingdao, China, on November 25.

山下泰裕理事長談

11月25日に「日中友好青島柔道館」が開館しました。柔道館の正面には両国の国旗が掲げられ、道場の壁には、嘉納治五郎師範が示した柔道の理想「精力善用・自他共栄」の言葉が張られていました。決して大きな道場ではありませんが、嘉納治五郎師範の精神が伝わるような配慮があり、胸が熱くなりました。施設の完成で支援が終わったら意味がないので、これからがスタートだと思っております。

今後は、学生ボランティアなどの派遣、青島日本人会クラブとの交流、この道場を利用しての日本文化を伝えること、そして日本の柔道クラブとの交流を計画していきたいと考えています。日中交流は2000年以上の歴史があります。近くて遠い国ではなく、近くて信頼しあえる国になるように、柔道という限られた分野ですが、市民レベルの草の根交流を推進したいと思っております。



青島柔道館の大きなゼッケンをつけた少年少女



日中のマスコミが取材

6月27日(水)～7月7日(土) 青島柔道協会・青島電力柔道部の役員が来日

6月27日(水)～7月7日(土)、青島柔道協会・青島電力柔道部の役員が来日し、東海大学柔道部や松前柔道塾を視察しました。「日中友好青島柔道館」の役員でもある青島柔道協会会長の徐殿平氏や青島電力柔道部の楊瑞芹さんは、山下理事長と柔道普及の意見交換を行ないました。



中国男子柔道ナショナルチームを北京オリンピックに向けて支援しています

強化合宿

6月5日～7月10日、10月12日～27日の期間、中国男子柔道ナショナルチームが来日し強化合宿を行いました

The Chinese National Men's Judo Team held training camps in Japan between June 5 and July 10 and between October 12 and 27.

光本健次教授談

ブラジル(リオデジャネイロ)で開催された世界選手権大会及びイギリスのブリティッシュオープンに同行しました。リオデジャネイロには北京オリンピック柔道競技開催に向けての視察で役員も多く参加していたようです。

世界選手権では、無差別級・+100Kg級・-100Kg級・-90Kg級の重量級では入賞はできなかったものの手ごたえを感じました。+100Kg級のWEI Xiangjun選手は、身長217cm、体重160kgの超大型選手です。ブリティッシュオープンでは3位入賞し、北京オリンピックでのメダル獲得も夢ではありません。-100Kg級・-90Kg級の選手も5位に入賞し、今後が期待されます。



光本健次教授(中央)は身長175cmです

謝謝!!

出稽古(2007年2月～11月)にご協力いただき、ありがとうございます!!

国士舘大学、山梨学院大学、東海大学付属相模高校、神奈川県警察警機動隊、桐蔭横浜大学、警視庁道場、栃木県白鷗大学足利高等学校、横須賀学院高等学校、日本体育大学、埼玉大学、東海大学付属翔洋高等学校、國學院大学、東海大学付属浦安高等学校の各柔道部にご協力いただきました。心より御礼申し上げます。



白鷗大学足利高等学校の皆さんと



SENGOKU INTERNATIONAL JUDO HALL 開館

6月2日(土)、Sengoku International Judo Hallの開館セレモニーに早川信正理事が出席しました

Director Nobumasa Hayakawa attended the opening ceremony of the Sengoku International Judo Hall, a facility established by the NPO, the Association for Uniting the World through Judo, held in Bali, Indonesia, on Saturday, June 2.

早川信正理事談

2007年6月2日、インドネシア・バリ島ギアニューールに元警視庁柔道師範仙石常雄先生が、永年の夢を実現されて開設された『SENGOKU INT'L JUDO HALL』のオープニングセレモニーに、『柔道教育ソリダリティー』のメンバー代表ということでお祝いに伺いました。道場は、日本で言えば、ちょっとした町営武道館くらいの大きさで、試合場2面がたっぷり設置されている大きさです。

式典では、仙石先生ご夫妻が民族衣装で正装され、すっかり地元で溶け込まれたご様子で皮切りのご挨拶をされました。その後、インドネシア陸軍元参謀長、バリ州知事、バリ警察署長、バリ柔道連盟会長など要人の方々の挨拶が続き、道場のテープカットは、在バリ日本国岩田総領事がされるという盛大なものでした。(植松国家警察長官アドバイザーご臨席)施設は、この柔道場の他に、先生の居宅、日本からのお客様が泊まれる宿泊設備、談話スペースなどがあります。

先生の設立されたNPO“柔道で世界と手をつなぐ育成クラブ”は、奥様が日本で運営され、現地では“PJSIバリ柔道連盟”との全面協力関係の上で成り立っています。この運動の偉大なことは、いろいろな人々が、先生の考え方に共鳴され、骨身を惜しまない協力をされていることにあります。まさに“柔道を介して手をつなぎあって”という趣旨が具現されているものと考えます。このような運動をわがNPO『柔道教育ソリダリティー』が、支持し、協力的一端を担うことは、非常に意義深いものがあると思われま

仙石先生の道場運営方法は、日本から寄付された古柔道衣をストックし、それぞれの人に合ったサイズを貸出し、自分で管理してもらうというやり方です。もちろん授業料は、無料とのことです。さらに柔道教授だけではなく、将来的には、学校に行けない貧しい家庭の子どもたちにも自前の図書館でボランティアを先生として、簡単な勉強や読書のお手伝いをしてあげたいとの事でした。そのような社会の底辺の子どもたちの中から、柔道をやることにより観光産業の警備員などへの道を開けてあげれば嬉しいとおっしゃっていました。



セレモニーに参加した早川信正理事と民族衣装で正装された仙石常雄先生



日対抗戦の主審を務める関根忍先生。試合は14対1でインドネシアの勝利



留学生が柔道体験

10月20日(土)、秋元国際奨学財団「竜の子留学生」が東海大学で柔道を体験しました

Scholarship students studying in Japan under the support of the Akimoto Tatsunoko International Scholarship Foundation, an organization providing financial support to Asian students in Japan to encourage them to become a driving force in creating a healthier and more prosperous world, took part in judo practice at Tokai University on Saturday, October 20.



初めて柔道着を着た留学生たち



「礼に始まり礼に終わる」武道を通して日本文化を学ぶ

アジアからの若者たちが健康で豊かな明日の地球を担う原動力になるように留学生の奨学援助を行っている秋元国際奨学財団の「竜の子奨学生」が10月20日(土)東海大学で柔道を体験しました。

留学生を迎えて山下理事長は、「柔道の精神を理解するということは、日本の心を理解すること。この柔道体験が日本文化の理解に繋がって欲しい。日本の心に触れた皆さんが、今後、アジア諸国に羽ばたいてくれることを期待しています」と挨拶し、続けて「柔道とは、どうして『道』がつくかわかりますか？ 剣道や華道、茶道も同じですが、柔道を通して学んだ事を日常で生かすことが目的である。そのために『道』と付くのです」と説明しました。

柔道体験は、オリンピック金メダリストの井上康生、塚田真希両選手のデモンストレーションで始まりました。トップアスリートの柔道技に、奨学生は感激した様子でした。その後、東海大学生たちの協力で、実際に柔道衣を着て組み手を学びました。また、東海大学体育学部中西英敏教授が技の仕組みを説明しました。練習では奨学生が柔道部員に技をかけて投げる場面もあり、初めての柔道体験は感激と興奮につつまれました。

練習を終えた奨学生は、次の感想を述べています。

「生活に活かされた時に柔道が本当の柔道になる」と言う言葉に色々考えさせられました。ありがとうございました。これからは、この言葉を念頭に置きながら自分の「道」を歩んで行きたいと思ひます。本当にありがとうございました。
東京大学 NGUYEN HUU QUANG

今日の先生のお言葉をききまして、非常に感激を受け、また人生においての良い勉強にもなりました。私も先生のように、今自分がやっている勉強を日常生活に生かし、それを通してまわりの人々に幸せを与えられる人間に成長していきたいと思ひます。本当に色々ありがとうございました。

青山学院大学 韓東賢

青少年を育てるために

望星学塾望星ゼミナール

6月25日(月)、望星学塾第3回望星ゼミナールにて山下理事長、橋本副理事長が講演を行いました



当法人設立以降の活動を話す山下理事長



熱心に聞き入る聴講者たち

NPO法人柔道教育ソリダリティーの1年—スポーツの心を社会で活かす—
Yearly Activity Report of NPO – Solidarity of International Judo Education
- Apply your heart of sports in our society -

The Shonan Bosei Seminar organized by the Bosei Gakujuku school was held at the Shonan Campus of Tokai University on Monday, June 25. About 200 people, including students, faculty and staff of the university, and employees of Shuwa Building Maintenance (a sponsor of the seminar and corporate member of our organization), attended the seminar.

望星学塾主催の湘南望星ゼミナールが東海大学体育学部校舎で行われ、学生や教職員、当法人正会員の秀和ビルメンテナンスの職員など約200名が聴講しました。

初めに橋本副理事長が当法人の設立の趣旨を話しました。「社会に育てられた私たちが社会に少しでも貢献できれば、私たちだけでなく皆で手をたずさえてソリダリティー、連帯することが出来れば、より良い社会にすることが出来る」また、「人とのつながりが平和への礎になるように連帯＝ソリダリティーという言葉を使い『柔道教育ソリダリティー』という名称が付けられた」と話しました。

続いて山下理事長が、主に2006年度の活動報告を行い、当法人の趣旨である柔道を通した国際交流や異文化について「人と人との交流は、世界中どこにいても変わらない。これを踏まえお互いの文化の違いを理解すること、世界に目を向ける好奇心が大切である」と話しました。さらに「NPO法人柔道教育ソリダリティーの活動は、個人の活動とは比べられないほどの決意や覚悟が必要であった。そんな中で様々な方々に支えられることにより初年度を乗り切ることが出来た。今後も出来る限りの社会活動を行って行きたい」と設立の心境と抱負を披露しました。

最後に、「NPO法人の活動を通じ、私たちが社会に何をすべきなのかを学んで欲しい」と締めくくりました。

第29回山下旗柔道大会

7月1日(日)、宮城県登米市で行われた第29回山下旗柔道大会を支援



細川伸二先生の柔道教室は、大盛況に終わりました



会場は、たくさんの人々の熱気につつまれました

The Yamashita Flag Judo Tournament, a competition named after Executive Director Yasuhiro Yamashita, was held in Toyoma Gymnasium in Tome City on July 1. One hundred teams from Tohoku and other regions, comprising 680 elementary and junior high school students, met in the magnificent gymnasium, which had previously served as the venue for the Miyagi National Athletic Meet.

山下泰裕理事長の名前を冠した「山下旗柔道大会」が7月1日、宮城県登米市の登米総合体育館で開催されました。宮城国体の会場にもなった立派な登米総合体育館に、東北地方のチームを中心に100チームが参加、680名の小中学生が集まりました。

開会式では、当法人の会員でもある寺澤豊志大会会長が「日頃の練習の成果を出して、精一杯頑張ってください」と参加者を激励しました。

柔道大会の前に行われた柔道教室は、84年ロサンゼルスオリンピック60キロ級金メダリストの細川伸二先生を迎え開催されました。当初、試合前とあって緊張していた子供たちも、先生から試合前の緊張のほぐし方を教わると次第に緊張が解けていった様子でした。細川先生は教え子である金メダリストの野村忠宏選手の背負投を説明しましたが、子供たちは身を乗り出して見ていました。

大会は、小学生、中学生男子、中学生女子の3部門で行われ、小学生の部で小友唯心塾(秋田)、中学生男子の部で安田柔道スクール(福島)、中学生女子の部で渡辺道場(仙台市)がそれぞれ優勝しました。

この柔道大会に参加したことのある選手が高校生や大学生になり、ご父兄の方々と一緒に会場の様々なところで働いているのを見かけました。29年目となるこの大会を続けてこられた大会関係者の皆様の熱意と力強くあたたいサポートに、日本の柔道の底力を感じました。今後は山下旗柔道大会を通し、多くの青少年が柔道仲間と友情を培い、ますます山下旗柔道大会が発展することを祈念します。

(事務局 川戸円記)



協賛企業・団体 (2006年～2007年)

 (株)アルデプロ	 トヨタ自動車(株)	 新日本製鐵 新日本製鐵(株)
 東建コーポレーション(株)	 全日本空輸(株)	 ミズノ(株)
 (株)ローソン	 (株)ファンドクリエーション	 (株)小松製作所
 (学)東海大学	 (株)エイチ・アイ・エス	 三井住友海上火災保険(株)
 伊藤忠商事(株)	 アスカコーポレーション(株)	 (株)未来塾
 東京電力(株)	 大成建設(株)	 九州電力(株)

(50音順)

(株)アイキューブドシステムズ	(株)アサヒ	(株)アシックス	新井運送(株)
アルミファクトリー(株)	WITH(株)	植木会計事務所	エフ・シー・エイ商事(株)
(株)大戸屋	オクト産業(株)	(学)加計学園	(株)霞ヶ関東海倶楽部
神奈川県柔道連盟	カネマス運輸(株)	川中不動産(株)	(株)神田製作所
関東興業(株)	紀柔館	九州旅客鉄道(株)	(株)九州教育産業
(財)九州ヒューマンメディア創造センター	教道館	共和電子(株)	(株)黒沢総研
京王電鉄(株)	(株)サーラコーポレーション	さがみ信用金庫開成会	(株)三技協
(株)ジャパンファイブ	秀和ビルメンテナンス(株)	ジョンソン・アンド・ジョンソン(株)	(株)鈴廣蒲鉾本店
住友商事(株)	星槎グループ	(株)セトプリント	総合警備保障(株)
双信電機(株)	(株)ダイナミックスパースンズ東京	(株)ダイワコーポレーション	(株)築地すし好
(株)ティラド	東海ウイング(株)	東海大学女子柔道部	東海大学付属相模高等学校
(財)東京都柔道連盟	東雄技研(株)	東洋水産(株)	(医)徳真会グループ
(株)ナリス化粧品	南開工業(株)	(株)西日本シティ銀行	日本興亜損保(株)思いやりクラブ
(株)ハート出版	医)白磁会中之島センタービル歯科	(株)博報堂DYメディアパートナーズ	早川繊維工業(株)
(株)福岡銀行	(株)富士サービス	(株)フジテレビジョン	(株)プラスト
(株)ふれし〜ど	(株)プロ・アクティブ	松前柔道塾	三基食品(株)
(有)みのさんファーム	柳田野村法律事務所	(株)山安	横浜市柔道協会
力善柔道クラブ	リコーリース(株)		

今後の活動予定

南アフリカ男子柔道選手の受入

2007年12月より南アフリカの男子柔道選手を1年間受け入れます



当法人事業「外国からの指導者・選手受入事業」の一環として、南アフリカの男子柔道選手を2名受け入れます。期間は2007年12月から1年間の予定です。東海大学で、柔道や日本語を修得し、帰国後、日本のことを伝えられる人材の育成に協力します。

小説「姿三四郎」の英訳版作成に向けて

小説「姿三四郎」の英訳を支援します



小説「姿三四郎」ポルトガル語版が全伯講道館柔道有段者の尽力で、2007年10月に出版されました。このポルトガル語版「姿三四郎」を基に、当法人では「姿三四郎」英語版の出版に向け取り組んでいます。

柔道指導教材の作成

ロシア柔道の支援の一環として柔道指導教材作成に協力

ロシア柔道連盟教育コーチングダイレクターであるラフリン氏から要請を受け、コーチ向けのコーチング教材作成及びセミナー開催に協力します。

ご支援下さい!!

世界の柔道仲間へ！ To our World Judo Friends! 柔道衣を送ろう！ Let's Donate Used Judogi to the World!



There are still many children in countries around the world who would like to practice judo but are unable to do so. A major obstacle is a lack of judogis. Solidarity of International Judo Education regularly collects used judogi and, upon request, sends them to such countries.

柔道を学びたくても学べない環境の子供たちが世界中にはたくさんいます。その原因の1つは、柔道衣不足です。柔道衣1着が月給よりも高く、とても手に入れることが出来ない人がたくさんいるのです。NPO法人柔道教育ソリダリティーでは、日頃使われていない柔道衣を集め、要望に応じて世界各国各地域へ送っています。

■ 送付方法

- 洗濯済みの柔道衣を送って下さい。
名前などついていても、1着だけでも、かまいません。
- 着払いで送付して下さい。
送付にあたっては、ヤマト運輸や佐川急便などの運送会社を使って下さい。

■ 宛て先■

〒259-1292 神奈川県平塚市北金目1117
東海大学 体育学部武道学科第5研究室
リサイクル柔道衣係

NPO法人柔道教育ソリダリティー 2007年度 会員状況

	個人	団体
正会員	129	23
賛助会員	69	4
アドバイザー	34	

個人会費:年間 一口10,000円(正会員)・一口3,000円(賛助会員)
(一口以上) (一口以上)
団体会員:年間 一口50,000円(正会員)・一口10,000円(賛助会員)
(一口以上) (一口以上)
寄付:特に定額はありませぬ

1. FAXにて会員登録をお願いします
2. 入金確認後に本登録をさせていただきます。

- ・郵便振替 口座記号番号:00200-7-37175
加入者名:特定非営利活動法人柔道教育ソリダリティー
- ・銀行振込 三菱東京UFJ銀行 平塚駅前支店 普通口座1573953
口座名称:特定非営利活動法人柔道教育ソリダリティー
理事山下泰裕
横浜銀行 東海大学駅前支店 普通口座1768726
口座名称:特定非営利活動法人柔道教育ソリダリティー
理事山下泰裕

活動に興味がある方は・・・

メールマガジン登録 ↓

<https://d.blain.jp/sm/p/f/tf.php?id=npojks>

